

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2004-43307 (P2004-43307A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-006
 【出願番号】特願 2002-158471 (P2002-158471)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 7/00

【F I】

A 6 1 K 7/00 J

A 6 1 K 7/00 R

A 6 1 K 7/00 W

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

融点の異なる少なくとも 2 種以上の粉体を用いて造粒することにより得られる化粧料用の造粒物であって、

i) これら粉体の融点は、化粧料の使用温度より高い値を示しており、

i i) かつ、該造粒物は、これら粉体が見す融点のうち最も低い融点の温度より高い処理温度であって、これら粉体が見す融点のうち最も高い融点の温度より低い処理温度で、熱処理されることにより得られることを特徴とする、化粧料用の造粒物。

【請求項 2】

最も低い融点を有する粉体として、ポリエチレン粉末を含有することを特徴とする、請求項 1 に記載の化粧料用の造粒物。

【請求項 3】

ポリエチレン粉末以外に結晶セルロースを含有することを特徴とする、請求項 2 に記載の化粧料用の造粒物。

【請求項 4】

ポリエチレン粉末と結晶セルロースの重量比が、6 : 4 ~ 3 : 7 であることを特徴とする、請求項 3 に記載の化粧料用の造粒物。

【請求項 5】

ポリエチレン粉末と結晶セルロースとを用い、造粒処理及び 95 ~ 105 の加熱処理を行うことにより得られた造粒物であることを特徴とする、請求項 3 又は 4 に記載の化粧料用の造粒物。

【請求項 6】

ポリエチレン粉末と結晶セルロースとを造粒し、しかる後に 95 ~ 105 で加熱処理することにより得られた造粒物であることを特徴とする、請求項 5 に記載の化粧料用の造粒物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載の化粧料用の造粒物を含有するマッサージ用の化粧料。